ORU KAYAK™

取扱説明書

オルカヤック ベイ

ORUKAYAK The Bay

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用の前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものでありカヌー（パドルスポーツ）の操作方法などを解説するものではありません。正しい使用方法を資格のあるインストラクターのもとで習得し、安全な条件のもとで十分な練習を行ってください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

オルカヤックは日本伝統の「折り紙」からアイデアを得て、シンプルで直感的に組み立てられるようデザインされました。いくつかの簡単な手順で、コンパクトな箱から美しく、丈夫で、洗練された12フィートのカヌーに早変わりします。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

○カヌー（パドルスポーツ）は常に潜在的な危険をはらんでいます。たとえ用具の正しい選択、使用、お手入れ、保管を行なっていても傷害や死亡事故などに至る危険性を完全に排除することは出来ません。個人の責任においてカヌー（パドルスポーツ）を行なってください。製造元のORUKAYAK社、および輸入販売元の（株）モンベルでは本製品の誤った使用に起因する損害や傷害、死亡事故に対していかなる責任をも負いません。

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

○健康に問題のある方は、カヌー（パドルスポーツ）を始める前に医師にご相談ください。

○資格のあるインストラクターから本製品の安全な使い方の講習を受け、安全な状況で練習してください。

○強い風、雨、雷雨、大荒れ、急流、洪水などの時は使用しないでください。本製品が操舵不能になったり、岸に戻れなくなります。使用する前に天候と川や海の状態を調べてください。本製品は波の穏やかなところ、内陸の湖、流れの遅い川用に設計されています。急流や波の荒れた状況で使用するために設計されていません。

○本説明書にある組み立ての方法に従ってください。本製品は正しく組み立てられていないと、本来の構造的な強度を失い破損する恐れがあります。

○使用前に毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。

○使用する場所に危険が無いかあらかじめ確認してください。

○公認の救急処置法の講習を受け、それに必要な救急箱・救急道具を携行してください。

○本製品に乗る際は必ずカヌー（パドルスポーツ）用のライフジャケットを着用してください。

○ヘルメットは常に携帯し、転覆した時などに岩等で頭をぶつける危険性のある場所では必ず着用してください。

○天候や状況に合わせた服を着用してください。水温、気温が低い場合や体を濡らしたまま放置した場合は、危険な低体温症を起こす恐れがあります。

○ホーンやホイッスルなどの救命信号用品を携行してください。

○乗艇、脱艇の妨げになるような改造、艤装はしないでください。転覆の際の脱出を妨げる恐れがあります。本製品に取り付けできるものは、互換性のあるものだけです。

○荷物を積む際はコックピット（出入り口）を塞がないようにしてください。転覆の際の脱出を妨げる恐れがあります。

○一人でカヌー（パドルスポーツ）をしないでください。緊急時や事故の際に非常に危険です。

○最大積載量（136 kg）を超えないようにしてください（パドラーの体重と積載された荷物の合計です）。本来の性能が発揮できない恐れがあります。

○本製品の底が当たるような浅瀬や操作しきれずに岩等に激突するような急流では使用しないでください。破損する恐れがあり危険です。

○水量、水位、干満、潮流、天候の変化に常に注意してください。

○沿岸で使用する際は、潮の干満や潮流の速さも十分に考慮して使用してください。湖、大河、沿岸等で使用する際は気象の変化により思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。

○本製品を使用する際は別売の浮力体（フローテーションバッグ）を使用してください。転覆の際に艇への水の浸入を最小限に抑えることが出来ます。（本製品に浮力はありません。）

○お子さまが使用する際は、本説明書の内容を理解した大人の方の管理下で使用してください。

○人力に頼っているカヌー（パドルスポーツ）の特性をよく理解し、自分の能力以上の行動は慎み、無理せずに安全に使用してください。

○身体能力、判断能力、本製品を安全に操縦する能力などに影響をあたえるアルコール、薬品、その他の物質を使用しないでください。

⚠ 注意 人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

○組立ての際に指などを挟まないようにご注意ください。

○組み立ての際は、けがをしないようにご注意ください。本製品は一部鋭利な部分があります。

○本製品は素材の特性上、折り跡が白化することがありますが性能上問題はありません。

○艇内に水が入った際は、そのまま持ち上げて排水しないでください。水の重さで本体が破損する恐れがあります。本製品の片面を水面、または地面に置き、少しずつ傾けながら排水します。また荷物が積載された状態で持ち上げると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

○本製品に荷物を積む場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。一般的に、静水時にデッキに水がかぶる程積載するのは危険です。

○重い荷物はデッキの上に積まないようにしてください。艇の重心が高くなり転覆しやすくなります。

○本製品は持ち上げて運んでください。底を引きずると破損する恐れがあります。

○本製品を車やトレーラーの屋根に載せて運ばないでください。車の中に入れて運搬してください。

○付属のショルダーストラップで長時間の運搬はしないでください。肩や背中が疲労する恐れがあります。

○本製品はレクリエーション用であり、防水用の隔壁がありません。転覆の際は本製品全体が浸水し、沈むことがあります。

○本製品は可能な限り、水面に浮いた状態で乗り込んでください。浜辺に上陸、または浜辺から入水する必要がある場合は、底の摩耗を最小限にするために滑らかな砂か泥の場所を選んでください。

○本製品を鋭利なもので引っ掻いたり、鋭利なものの上で引きずったりしないでください。破損する恐れがあります。

○氷点下（0℃以下）で本製品を使用したり、折り畳まないでください。氷点下ではカヌー本体のプラスチックが脆くなり破損する恐れがあります。

○本製品を高温になる所や火のそばに近づけないでください。変形や破損する恐れがあります。

○正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。異常が見られた場合は使用しないでください。

□カヌー本体に破損などがないか　□テープやバックルに破損や変形がないか

□ネジやバックルにゆるみがないか

■ 使用方法

○P.4からの組み立て方法をご覧ください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

○使用後は水洗いをして泥などを落として完全に乾燥させてください。特に海水で使用した後は清潔な水で本製品を洗ってください。

○カヌー本体に使われているプラスチックのひだの内部に水が溜まることがあります。排水するには広げた状態の本製品を5分から10分の間、垂直に立てかけてください。

○汚れがひどい時は中性洗剤と研磨剤の入っていない布かスポンジ洗ってください。

○重大な破損や穴がある場合は使用を中止し、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。

■ 保管方法

○直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。直射日光はプラスチックの退色や脆化を促します。

○火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。

■ 廃棄方法

○廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

○本製品の誤った使用方法によるもの　○間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化

○乱暴な取り扱いによるもの　○その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様・サイズ

品番	：	#1843013
品名	：	オルカヤック ベイ
素材	：	カヌー本体・デッキ：5㎜ 2層ポリプロピレン（紫外線抑止加工） シート・バルクヘッド：10㎜ 2層ポリプロピレン トリム（縁部分）・構造用部品：ABS樹脂 ガスケット・フェアリング：EPDM（エチレン・プロピレン・ジエンゴム）、ネオプレンゴム 留め具：ナイロン、ステンレス鋼
寸法	：	全長：371㎝　最大幅：64㎝　コックピットサイズ（縦×横）：76×41㎝
収納サイズ	：	81㎝×33㎝×71㎝
本体重量	：	本体重量：12kg
定員	：	1名
最大積載量	：	136kg（パドラー含む）

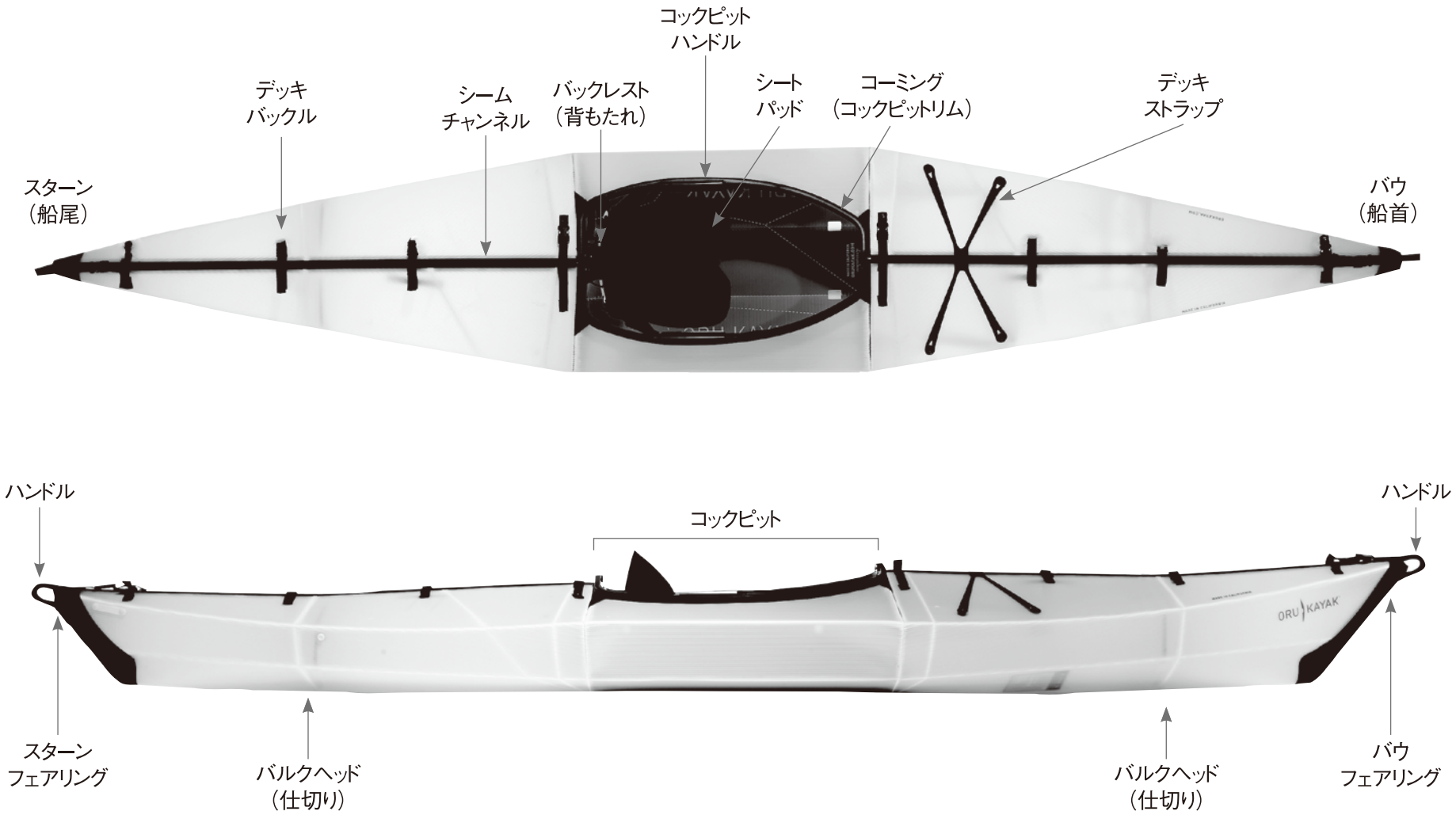
■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2　Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで　モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

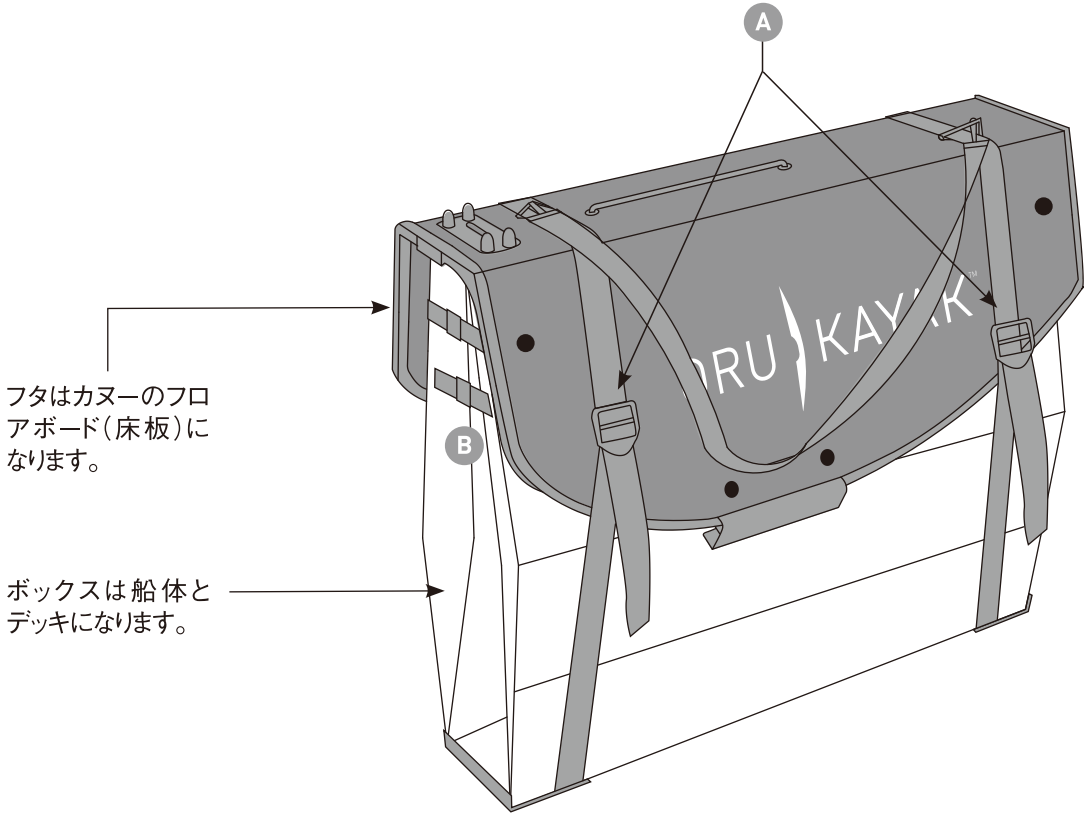
07-382-1507

■ 各部の名称


コックピット
ハンドル
デッキ
バックル
シーム
チャンネル
バックレスト
（背もたれ）
シート
パッド
コーミング
（コックピットリム）
デッキ
ストラップ
スターン
（船尾）
バウ
（船首）
ハンドル
コックピット
ハンドル
スターン
フェアリング
バルクヘッド
（仕切り）
バルクヘッド
（仕切り）
バウ
フェアリング

（1）ボックスを開ける

ボックスには組み立てに必要なパーツが全て含まれており、お持ちのライフジャケットや4ピースパドルなどのギア類を収納するスペースもあります。



A ショルダーストラップのラダーバックルを緩めて、ボックスから外します。
カヌーをする際はこのストラップは不要です。ボックスに戻して収納するときにストラップが必要になります。

B オレンジのフタの両脇にある2カ所のバックルを外し、フタを持ち上げます 。

C ボックスの中のカヌーパーツを取り出します。P.5のパーツリストを参照の上、パーツが揃っているか確認してください。いくつかのパーツはあらかじめカヌー本体に取り付けられています。

パーツリスト

1 ショルダーストラップ
カヌーがボックス状に梱包されている際に使用する持ち運び用ストラップです。
カヌー中は使用しませんのでバックレスト（背もたれ）のうしろに収納してください。

2 シームチャンネル（2本）
デッキを組み合わせた箇所を密封するために使用します。

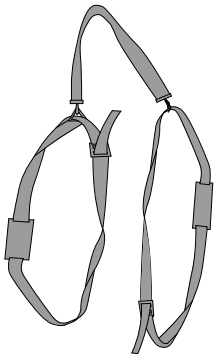
3 スターン（船尾）バルクヘッド
カヌー本体に剛性を持たせます。

4 バックレスト（背もたれ）
腰のサポートと船体の剛性を高めるために使用します。

5 シートパッド
フロアボードのショックコードの下に挟んで使用します。

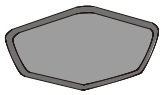
6 デッキストラップ（2本）
ギア等をデッキに固定するため使用します。

7 予備パーツ
修理・交換用の予備のねじ、ナット、バックルです。



1 ショルダーストラップ

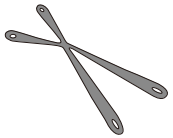
2 シームチャンネル（2本）



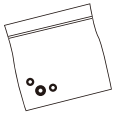
3 スターン（船尾）バルクヘッド

4 バックレスト（背もたれ）

5 シートパッド



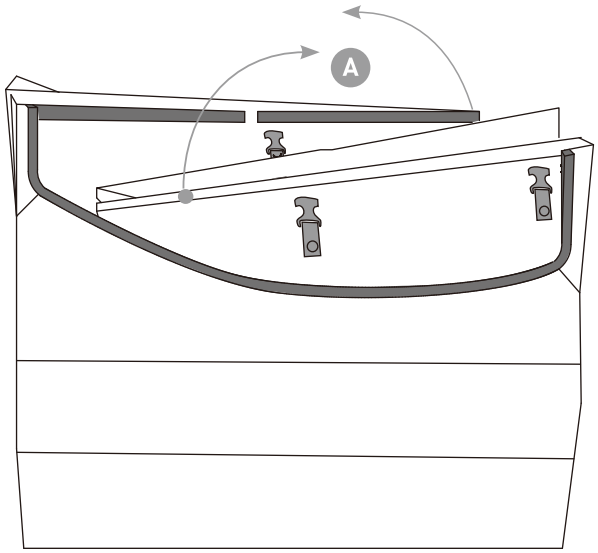
6 デッキストラップ（2本）

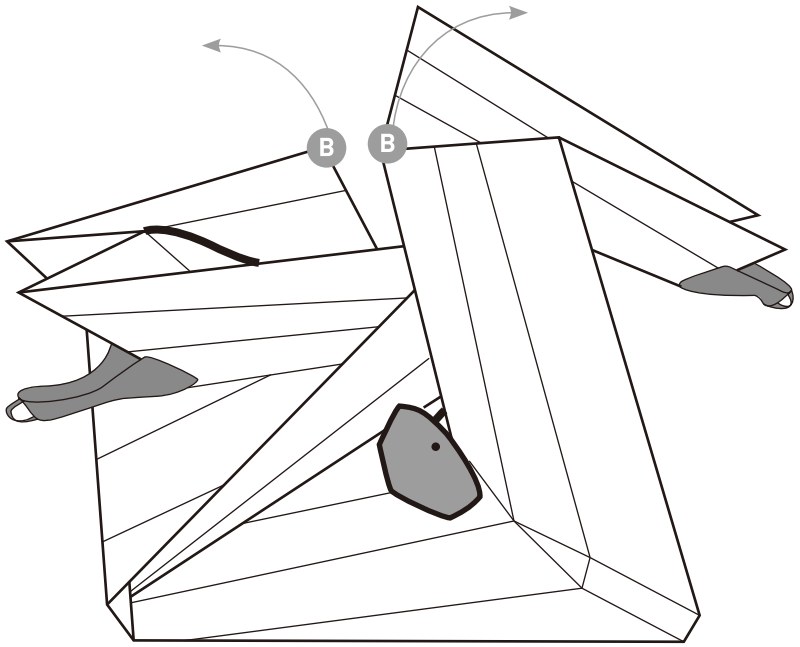


7 予備パーツ

(2)ボックス(カヌー本体)を広げる

※組み立てまたは収納の際に
便利な、色付きステッカーが目印
として付いています。





A オレンジ色のステッカーが貼ってある
2カ所の折り目を持ちます。Aの矢印
の方向に引っ張って広げます。

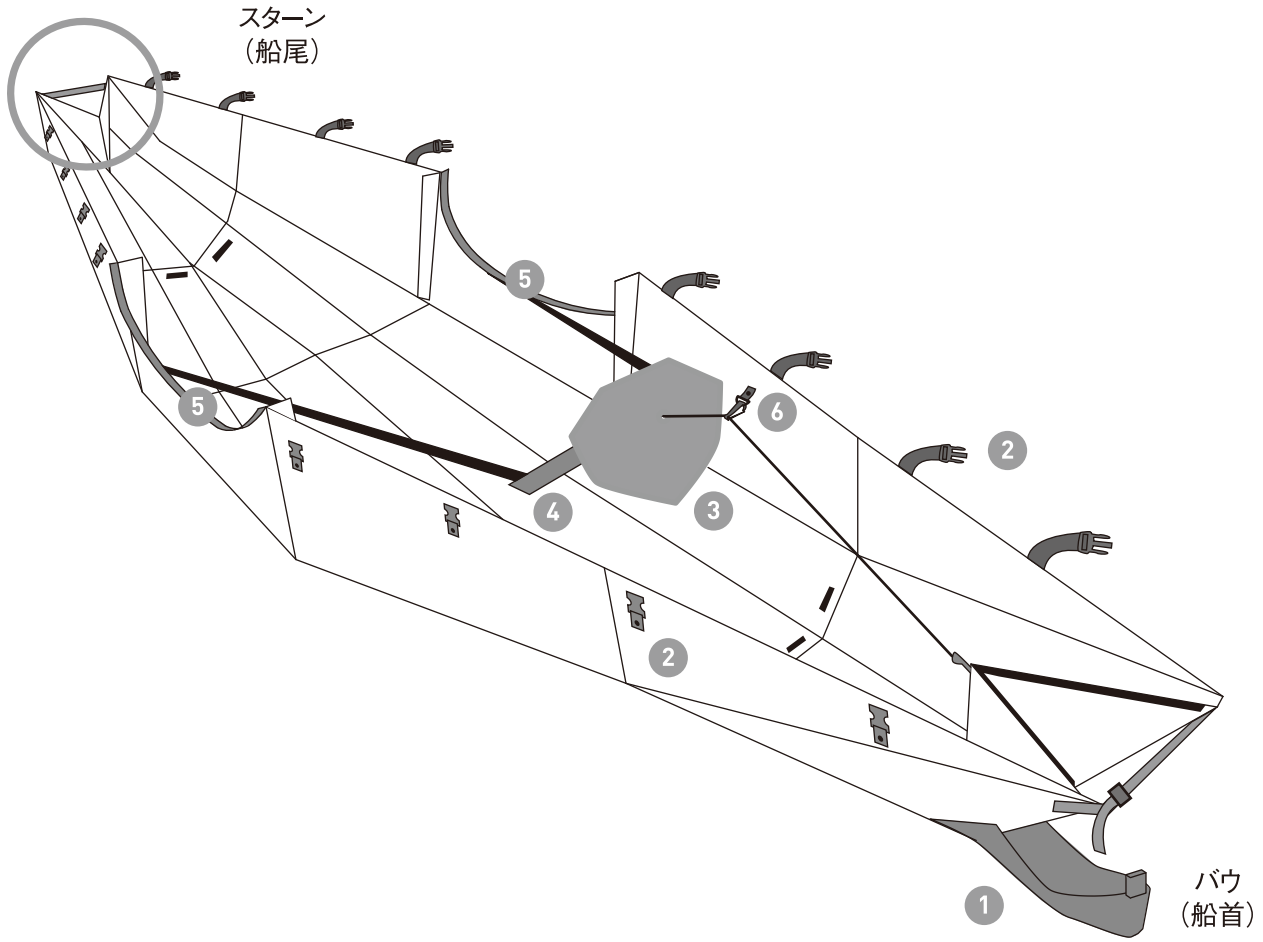
B 両端を広げて箱状のものを一枚の
長いシート状にします。
カヌー本体の折れ曲がっている箇所
を手で押して平らにしながら広げてく
ださい。

パーツを確認する

パーツ:カヌー本体

ボックスがカヌー本体になっています。いくつかのパーツはあらかじめカヌー本体に取り付けられています。カヌーのバウ（船首）とスターン（船尾）は形状が異なりますので、組み立ての際はご注意ください。

1. フェアリング
   船体のバウ(船首)とスターン(船尾)をカバーします。組み立てた本製品を移動させるのに便利なグラブループも付いています。
2. デッキバックル
   8カ所のバックルでデッキを固定します。
3. バウ(船首)バルクヘッド
   構造剛性を備えるものです。
4. アジャスタブル フットレスト
   足を快適な位置に置くことで、パドリングが楽になります。
5. コーミング
   標準的なスプレースカートを取り付けることができます。
6. バルクヘッドフック
   カヌーを箱状におりたたんだ際にフットレストをよりきっちりと収めることができます。



パーツを確認する

パーツ:フロアボード
ボックスのフタが、本製品のフロアボードになります。フロアボードは本製品の組み立てにおいて極めて重要な部分になります。コックピットの中のコーミングに取り付け、シートパッドとバックレストを固定します。

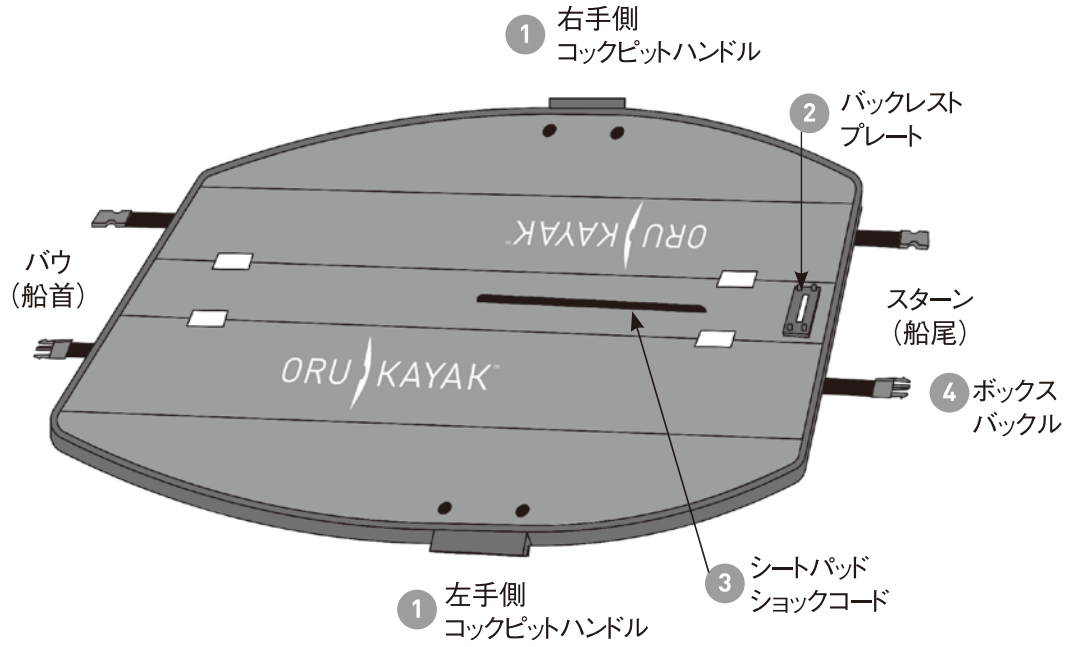
1 ハンドル
コーミングにはめ込みます。
カヌーから出入りする際の手の置き場になります。

2 バックレストプレート
バックレストを固定します。
(P15参照)

3 シートパッドショックコード
シートパッドはフロアボード中央にあるショックコードの下に挟みます。
(P16参照)

4 ボックスバックル
2セットあるバックルは収納の際に使用します。カヌー使用時には使いません。

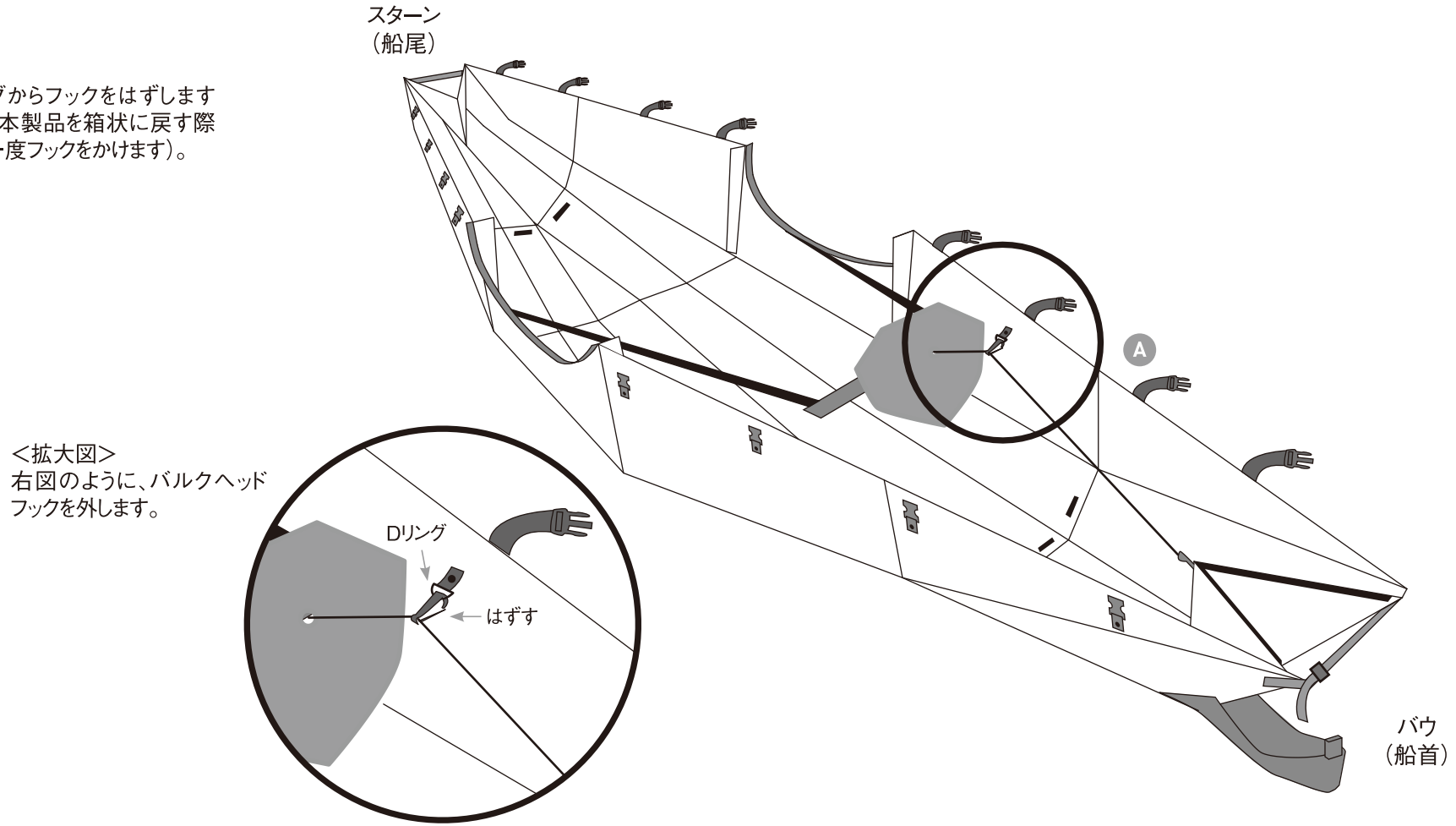
※ボックスバックルはカヌー本体を組み立てる前につないでおくと、使用時にばらつかず邪魔になりません。



(3)バルクヘッドフックをはずす

バルクヘッドフックは、折り畳み収納時にフロントバルクヘッドとフットレストが邪魔にならないよう固定しておくためのものです。

Ⓐ Dリングからフックをはずします（あとで本製品を箱状に戻す際にもう一度フックをかけます）。

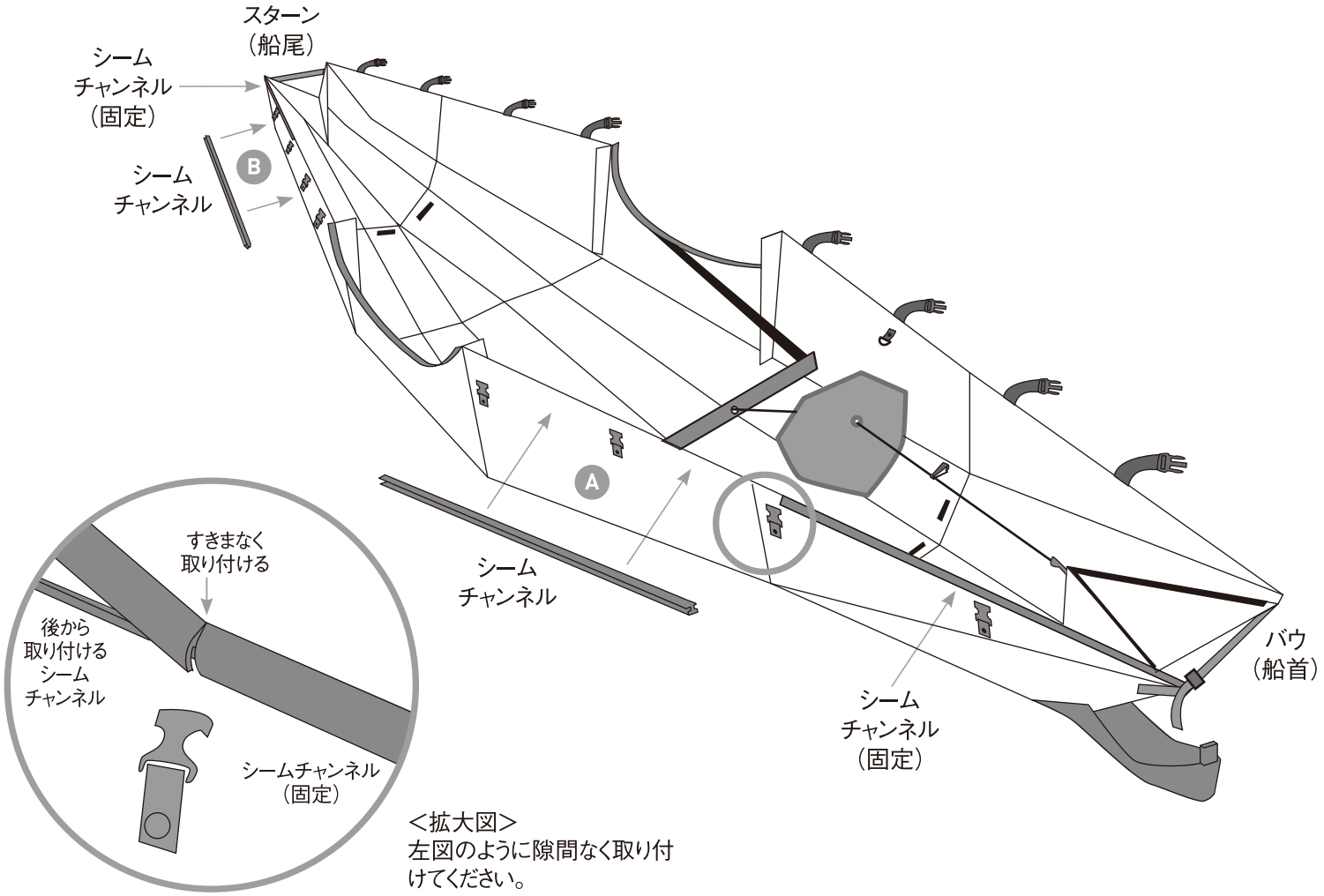


(4)シームチャンネルを取り付ける

デッキの片側には、あらかじめシームチャンネルが２個取り付けられています。残り２個を組み立ての際に取り付けることで、全てのシームチャンネルが装備されデッキが密閉されます。

Ⓐ バウ(船首)側にあらかじめ取り付けられているシームチャンネルの横に、しっかりとシームチャンネルを取り付けます。シームチャンネル同士の間に隙間がないようにしてください。(拡大図参照)

Ⓑ スターン(船尾)側も同じ手順でシームチャンネルを取り付けてください。



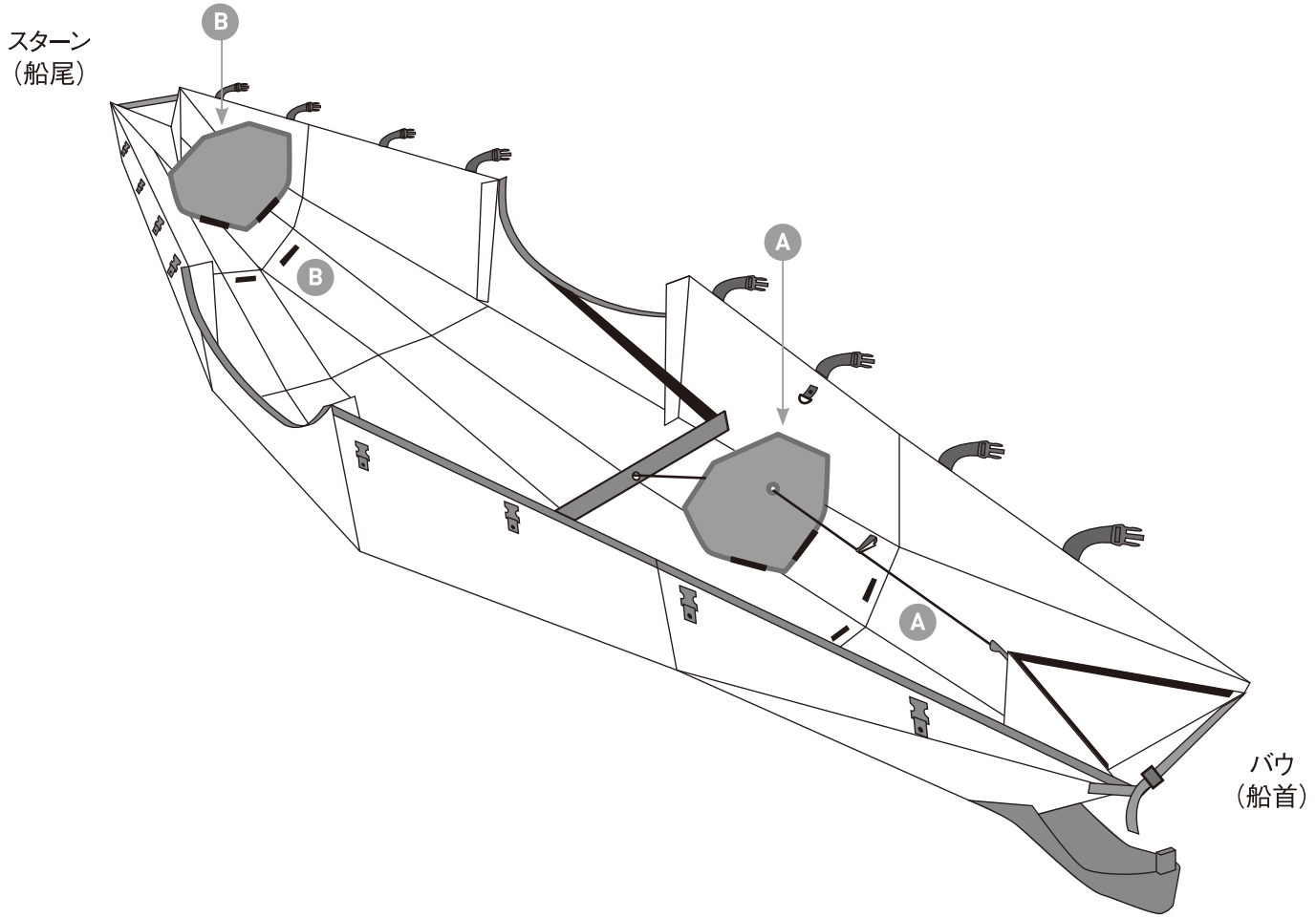
＜拡大図＞
左図のように隙間なく取り付けてください。

(5)バルクヘッドを取り付ける

バルクヘッドによって、本製品に構造剛性が備わりますが、隔壁としての防水性はありません。
沈の際に水の浸入を最小限にするために、別売りのフローとバッグ（浮力体）をバウ・バルクヘッドとバウ（船首）の間、
スターン・バルクヘッドとスターン（船尾）の間に入れてください。
※安全のためにフロートバッグ（浮力体）を入れる事をお勧めします。

A バウ・バルクヘッド（ショックコードでフットレストに繋がっている）をバウ（船首）側の船体にある黒色のU字型のレール（2カ所）にはめます。

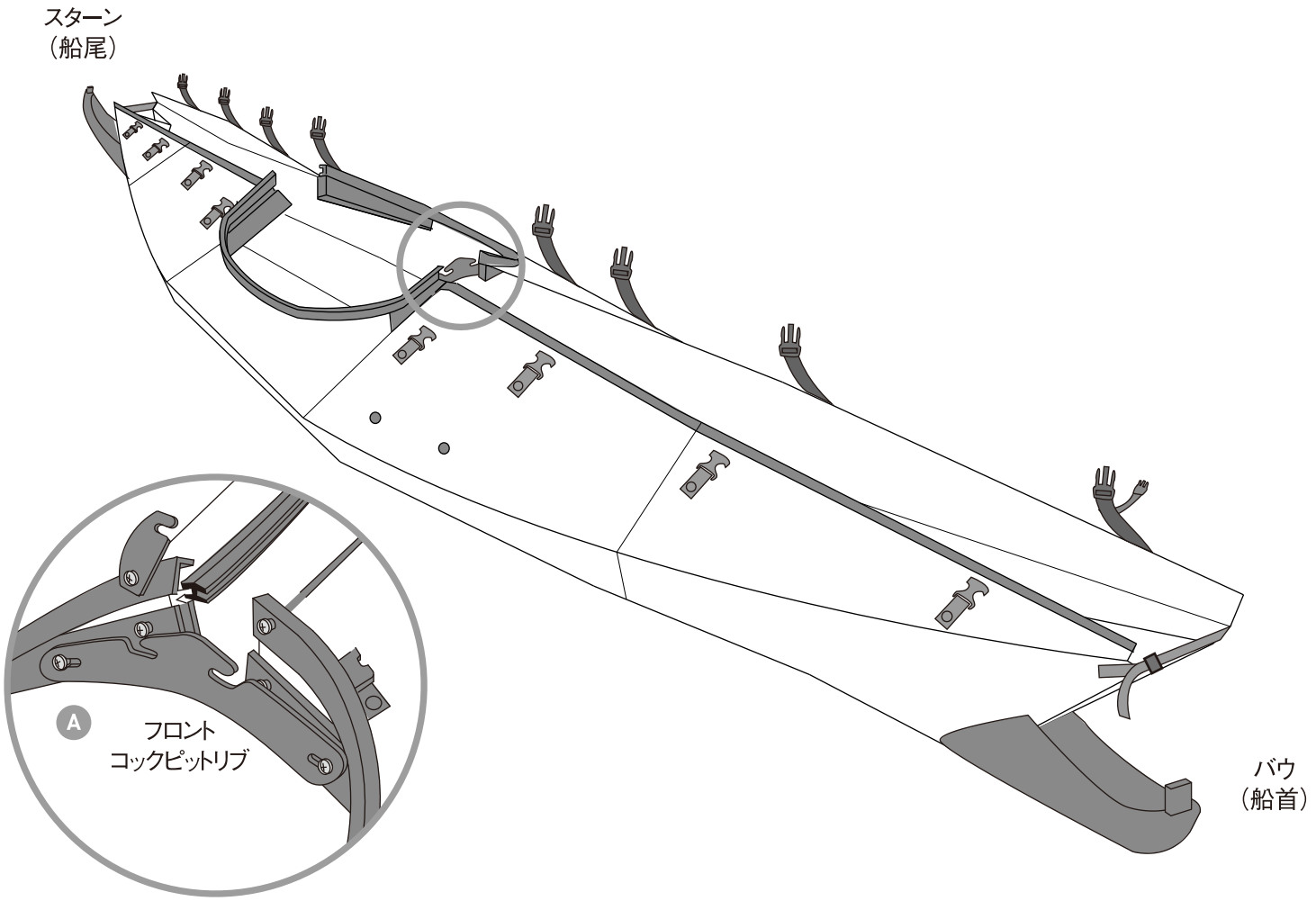
B スターン・バルクヘッドを、スターン（船尾）側の船体にある黒字のU字型のレール（2カ所）にはめます。



(6)フロントコックピットリブを閉じる

この手順で本製品をカヌーの基本の形状にします。

Ⓐ フロントコックピットリブを回し、一番離れた箇所のネジにはめてください。それ以外の内側2カ所のネジはこの段階ではめる必要はありません。



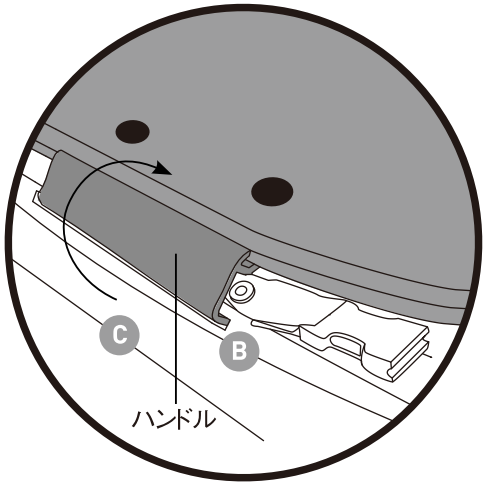
(7)フロアボードを入れる

コックピットにフロアボード（床板）を組み込みます。
ハンドルをコーミング（コックピットリム）に回して留めることで、フロアボードが適切な位置に固定されます。

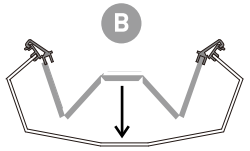
Ⓐ フロアボードをU字型にして、コックピットに入れます。

Ⓑ フロアボードの中央を折り上げ、W字型にしてハンドルをコーミングに合わせます。

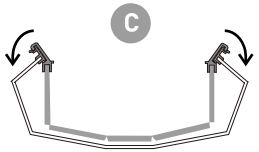
Ⓒ フロアボードを下へ押さえ込みながら、ハンドルを固定します。コーミングのミゾにハンドル上部を合わせ倒すように固定します。反対側も同様に固定します。（拡大図参照）



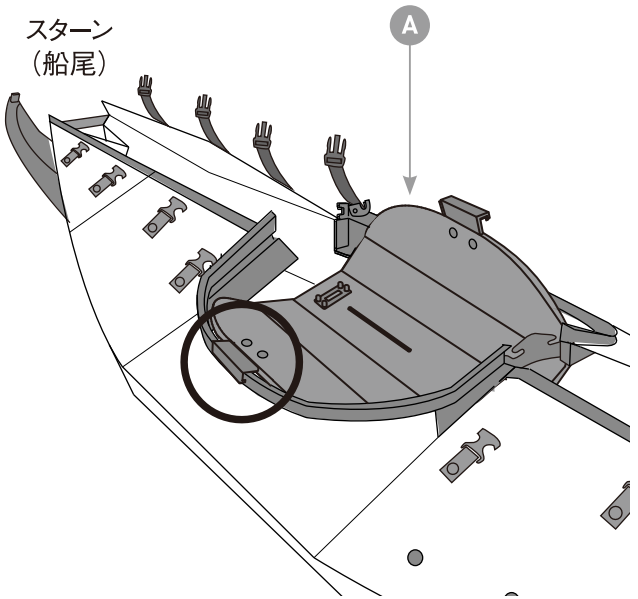
＜拡大図＞
ハンドルはコーミングラッチの上になります。コックピットハンドを回して図のようにコーミングにロックします。



フロアボードの中央を折り上げ、フロアボードを本体内側に入れます。



ハンドルを回し、コーミングに固定します。



(8)カヌーの前部を固定する

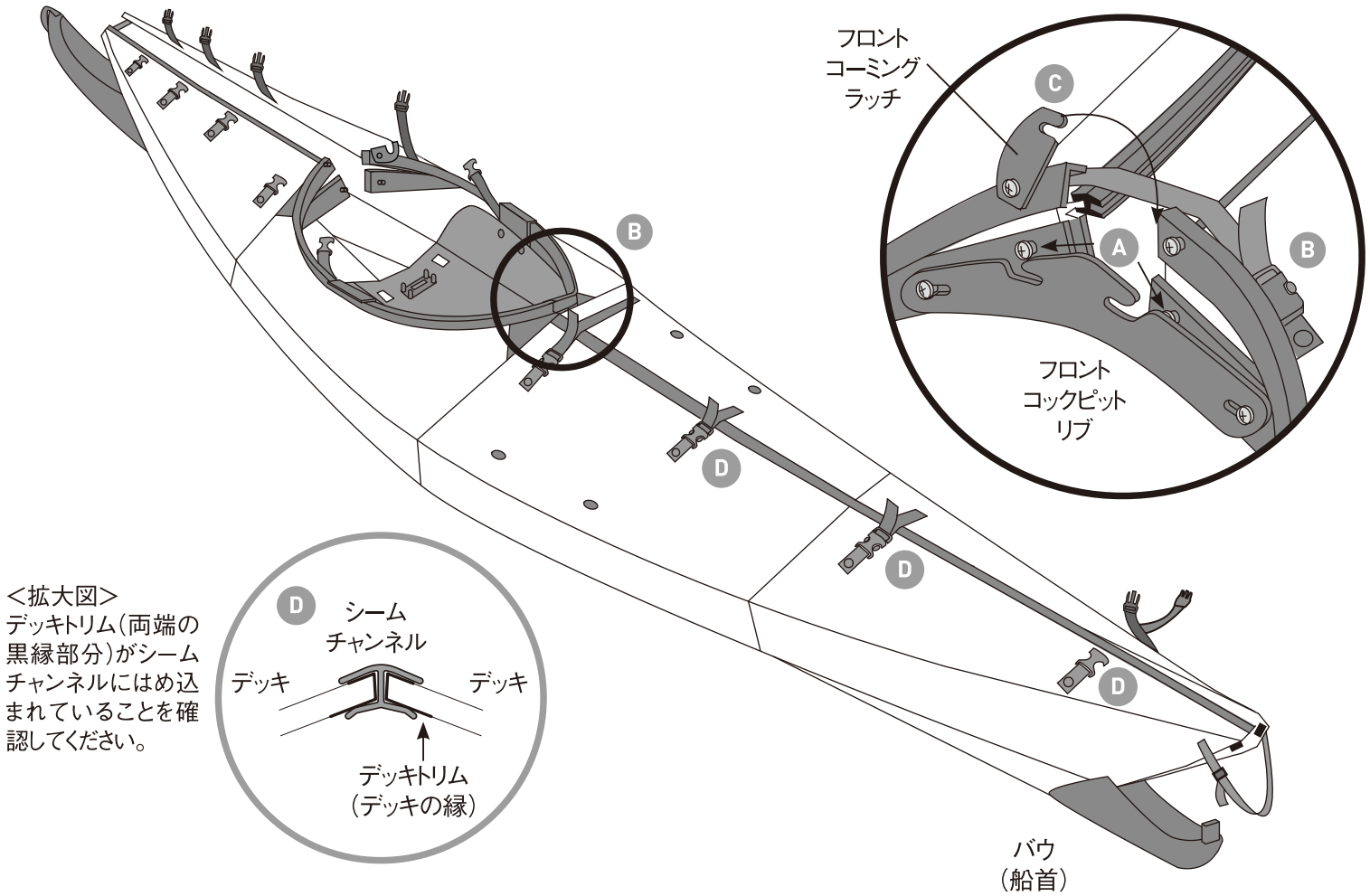
本製品のコクピットは、カヌーに出入りする際の使用者の体重に耐えうる補強が施されています。

Ⓐ ネジをフロントコックピットリブの上部切り込み部分に合わせてください。

Ⓑ ファーストデッキストラップを締めて、フロントコックピットリブの切り込み部分にネジをはめます。

Ⓒ フロントコーミングラッチ（掛け金）を留めます。

Ⓓ フロントコックピットリブを回して、ネジ穴がネジにはまるように調節します。
デッキの両端が手順４で取り付けたシームチャンネルに完全にはめ込まれていることを確認してください。
デッキの両端がシームチャンネルに完全にはめ込まれていることを確認してください。（拡大図参照）



<拡大図>
デッキトリム（両端の黒縁部分）がシームチャンネルにはめ込まれていることを確認してください。

(9)カヌー後部を閉じる

この作業は、コックピット前部を閉じる作業（P.12とP.13）と手順は同様です。
コックピットの後方を支えるバックレストを取り付けます。

Ⓐ フロアボード（床板）にあるバックレスト用プレートにバックレストを差し込みます。

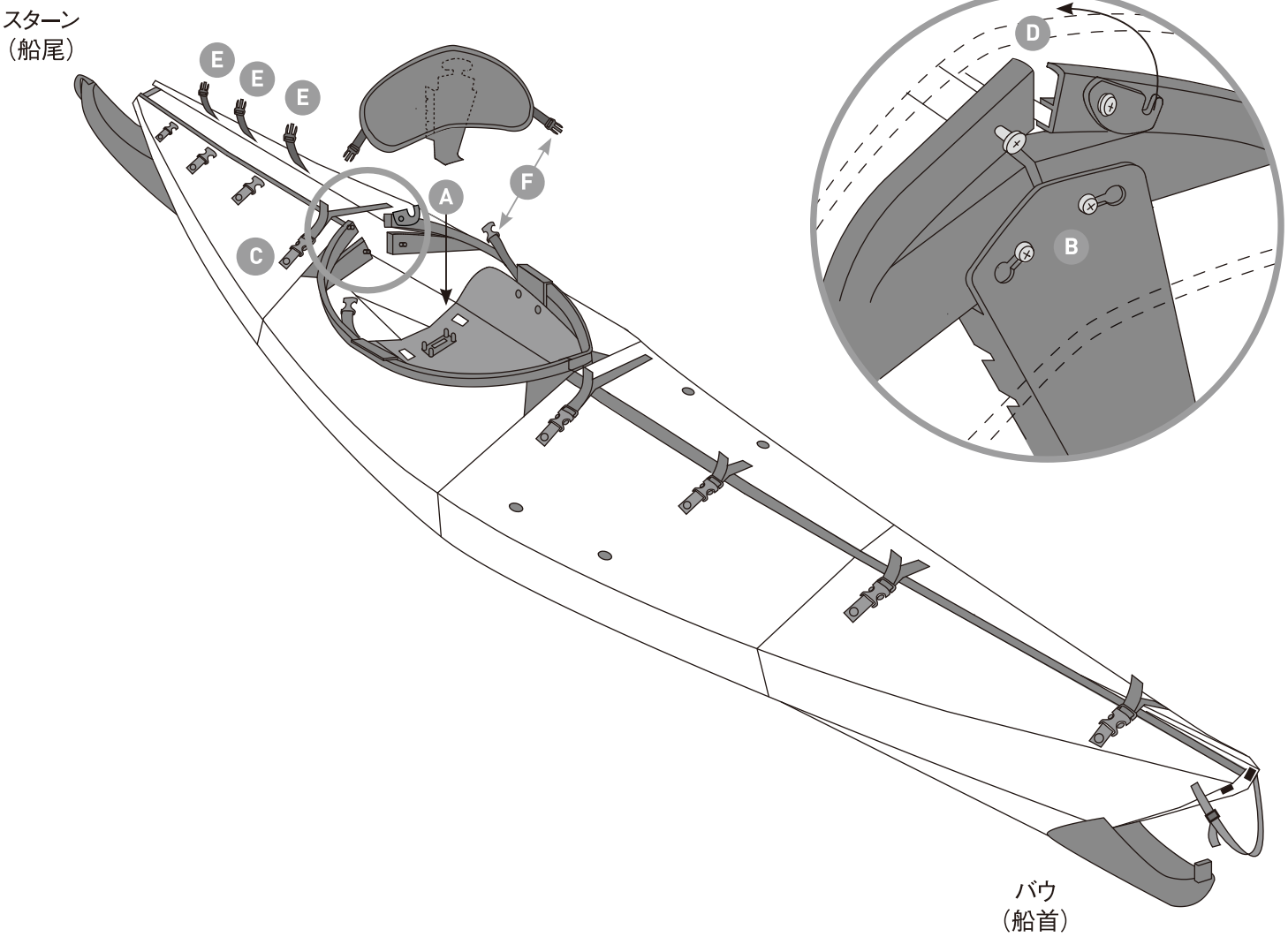
Ⓑ デッキ下部の2カ所のネジにバックレストの溝に合わせて取り付け、バックレストの上部を固定します。（拡大図参照）

Ⓒ バックレストの後ろにあるデッキバックルを留めしっかりと引きます。

Ⓓ コックピットの掛け金（コックピットラッチ）を留めます。

Ⓔ P.14と同様に、後部のバックルを留めしっかりと引きます。

Ⓕ バックレストの両端にあるバックルを、コーミングにあるストラップに留めます。



＜拡大図＞
バックレストをコックピットとコーミングに取り付ける方法。
（バックレストの後ろ側の図です）

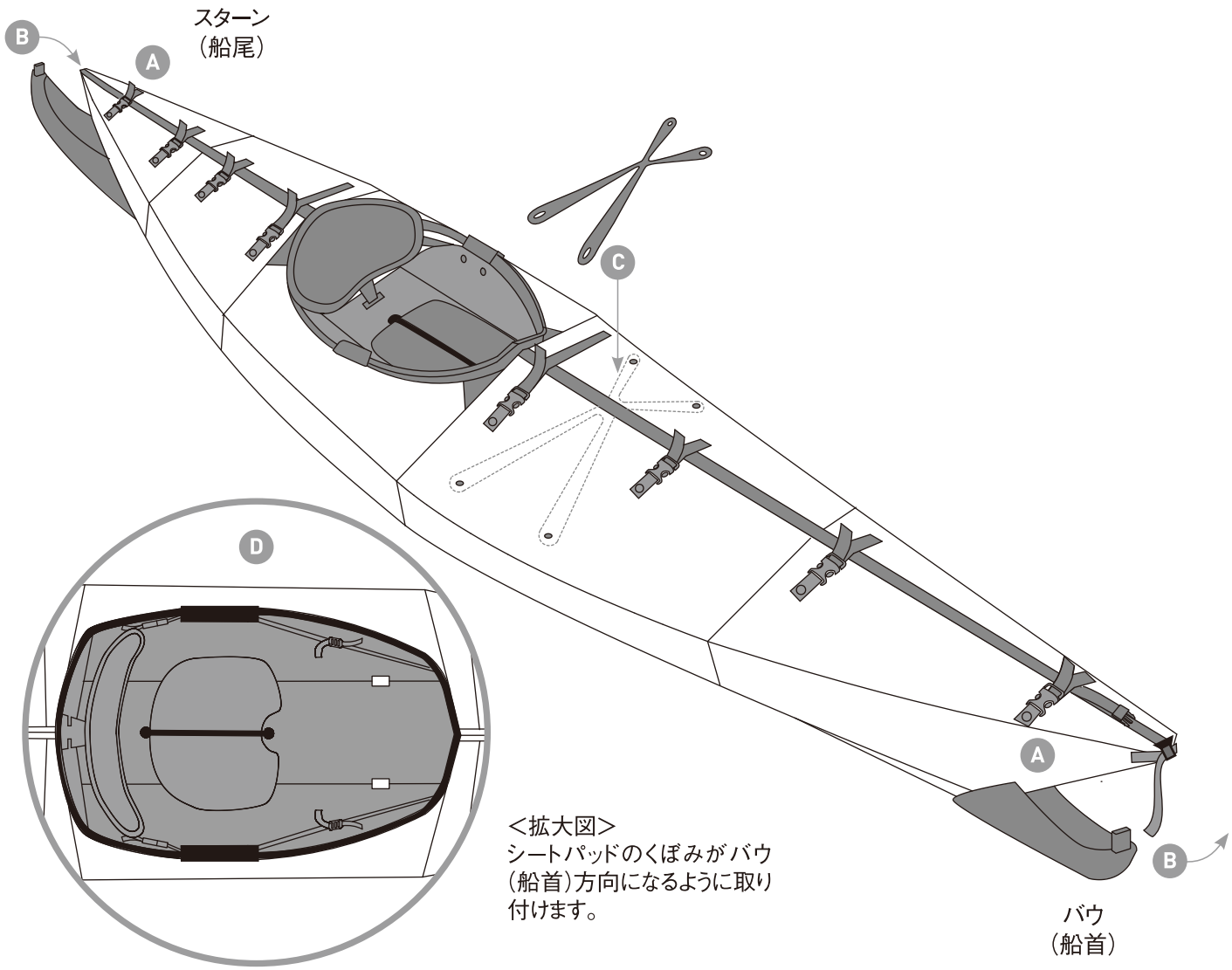
(10)パーツの取り付け

Ⓐ カヌー両先端をフォームブロック(スポンジ状の発泡体)で密閉し、ストラップで締めます。

Ⓑ 両先端にあるフェアリングを引き伸ばし、デッキストラップの両端にあるバックルにそれぞれ留めます。

Ⓒ コックピット前面にある留め具に、ラバーデッキストラップを取り付けます。

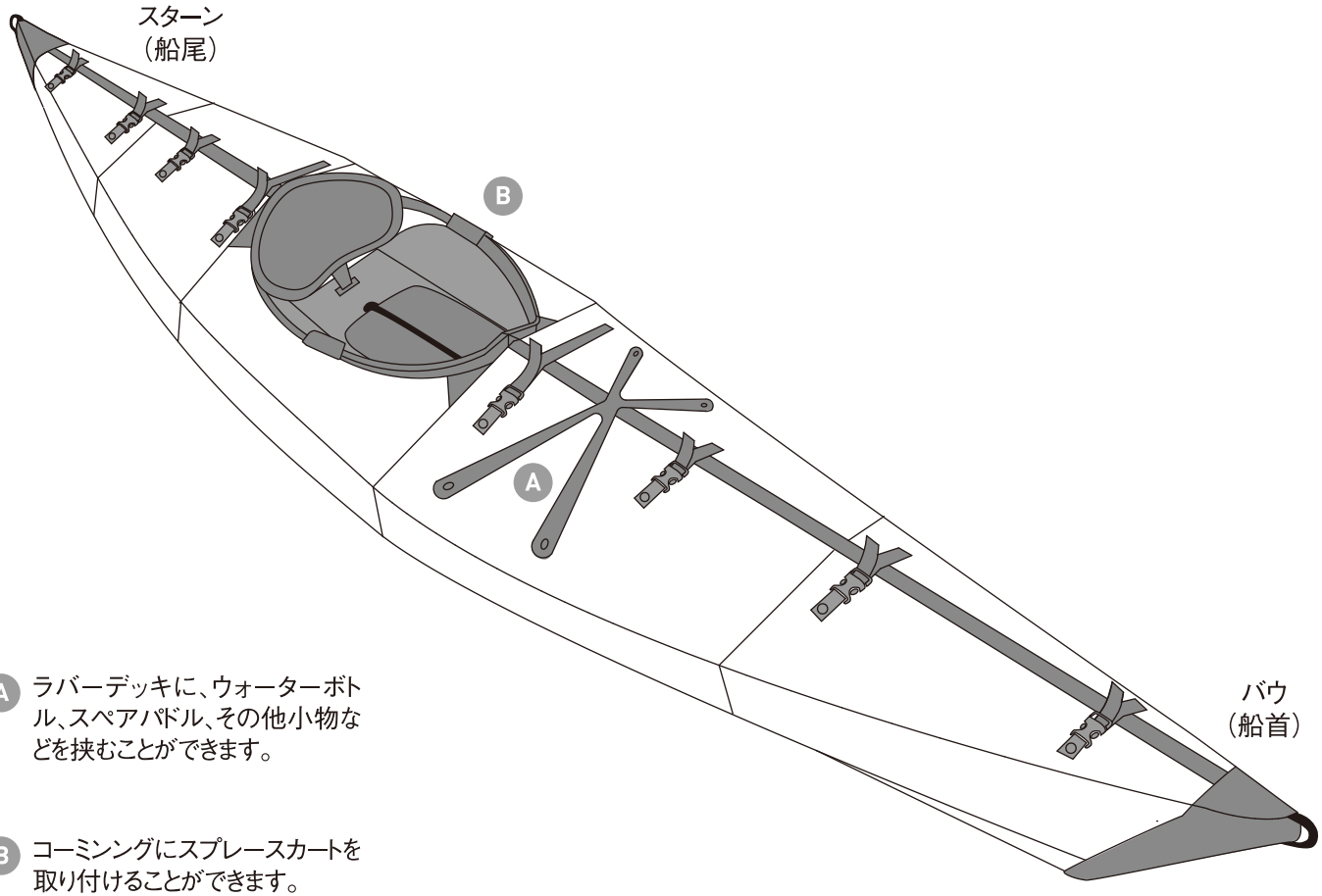
Ⓓ シートパッドをフロアボード(床板)のゴム紐(ショックコード)に挟みます。



フィッティング

バックレスト: カヌーに入る前に、バックレストの調節をします。
腰を支えるようにショックコードを上または下へ動かして調節します。

フットレスト: カヌーに入ったら、足の長さに合わせてフットレストを調節します。
座った状態で、デッキ真下のコックピハンドルの左右前方にあるバックルを緩めたり引き締めたりして、フットレストの位置を調節します。
フットレストは、膝を外側に広げても足を楽に曲げられる位置に調節してください。



A ラバーデッキに、ウォーターボトル、スペアパドル、その他小物などを挟むことができます。

B コーミングにスプレースカートを取り付けることができます。

組み立て チェックリスト

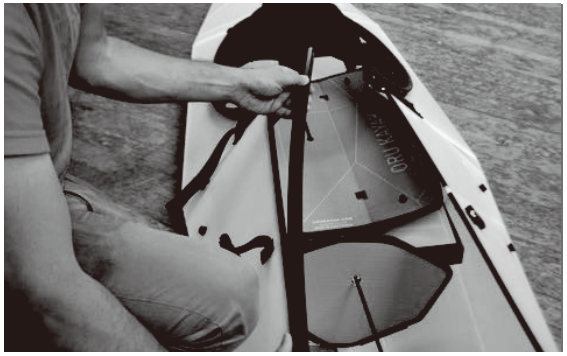
- ■ バウ（船首）とスターン（船尾）部分は内側に折り込まれ、それぞれの先端はフェアリングで被われているか
- ■ シームチャンネルはしっかりと閉じられていて、シームチャンネル下のデッキトリム（黒縁部分）はまったく見えないか
- ■ デッキの8カ所すべてのバックルは、しっかりときつく締められているか
- ■ コーミングはコックピットの前方と後方でしっかり固定されているか
- ■ 両サイドのコックピットハンドルは、コーミングにしっかり固定されているか

■ 収納方法

収納方法は組み立ての逆の手順ですが、一部異なる点があります。
すばやく簡単に収納するために以下の手順で収納してください。
※カヌー本体のプラスチックのひだの内部に水が溜まることがあります。折りたたみ手順６に進む前に、広げた状態
　の本製品を垂直に立てかけて排水してください。

1 バウ(船首)とスターン(船尾)のフェアリングをはずし、ストラップをゆるめます。

2 ラバーデッキストラップを取り外し、デッキにある8カ所のバックルすべてを外します。

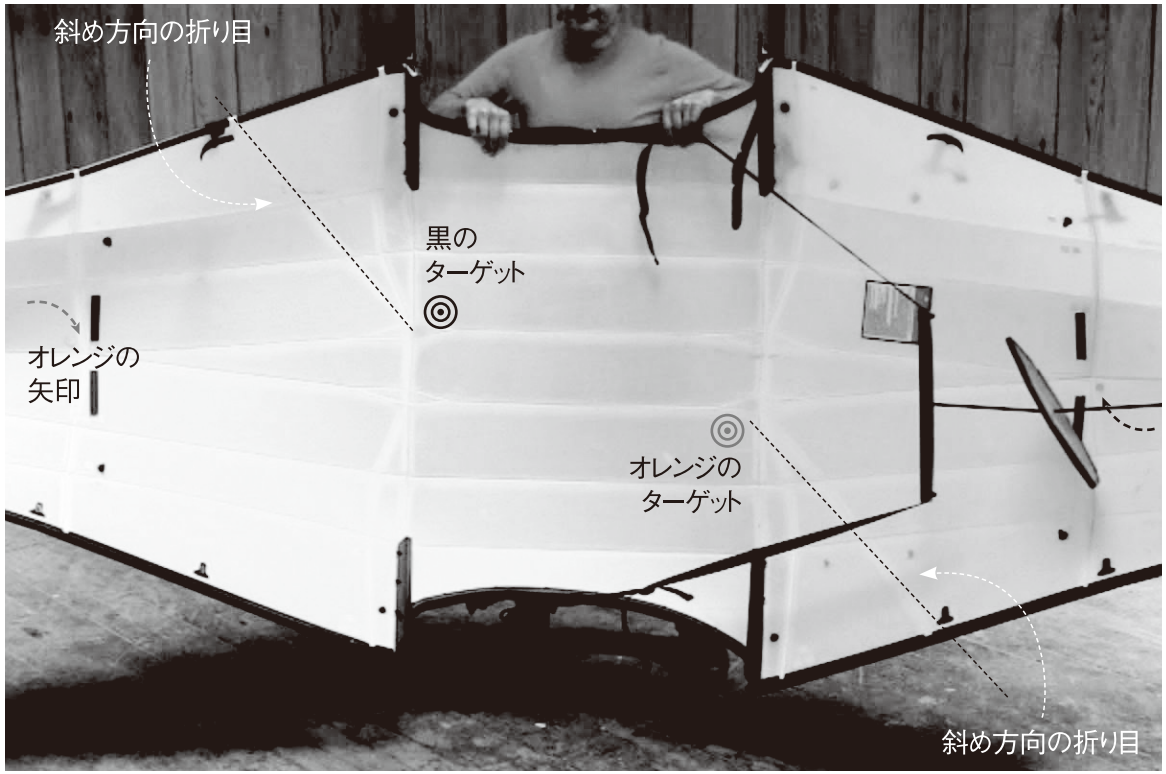


3 【重要】組み立て手順４で取り付けたシームチャンネル(2カ所)を外します。

4 バックレストを外します。

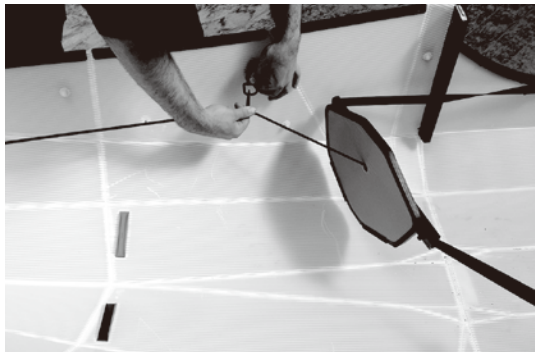
カヌー本体の折り込み方法

すべての取り外し可能なパーツをはずしたら、広げた本製品の２カ所に非対称の斜め方向の折り目があることを確認してください。（右写真参照）
また、黒とオレンジの矢印、および黒とオレンジのターゲットを確認してください。これらを目印に、次項で本製品のバウ（船首）とスターン（船尾）を内側に折り込みます。



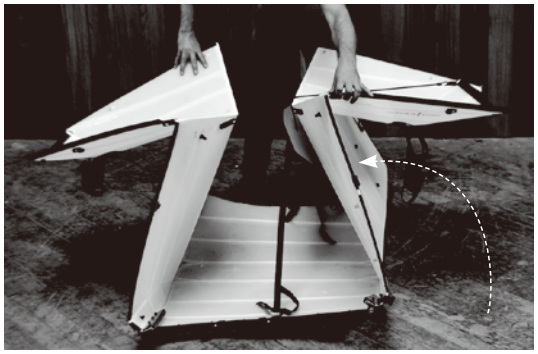
カヌー本体の折り込み方法

5 コックピットの前方と後方を外し、フロアボードを取り外します。
これですべての取り付けパーツが外されました。

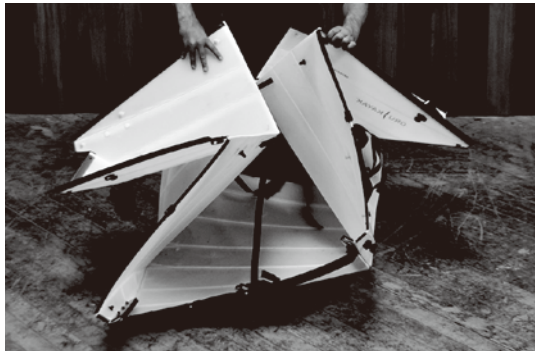


6 組み立て前のようにバルクヘッドキーパーをD-リングに留めます。

7 写真のように、まず片側を内側に折ります。バウ（船首）、スターン（船尾）どちら側からでも構いません。



8 反対側も同じように折ります。



9 両方の折った部分を、前後に少しずらせながら内側に折り込みます。
オレンジの矢印をオレンジのターゲットに、黒の矢印を黒のターゲットに近づけながらそれぞれを折り込みます。

10 2色の矢印がそれぞれのターゲットと同じ位置に近づくまで押しながら折り込みます。

折りたたんだ本体を収納する

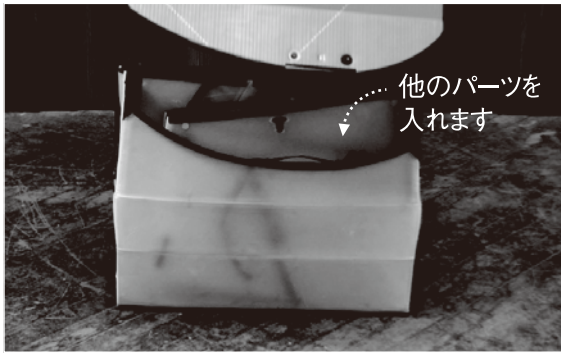
ボックスにすべてのパーツを収納することができます。さらに、お持ちのパドルやライフジャケットなども一緒に収納することができます。

最初は収納するのが硬くて難しいかもしれませんが、使用とともに収納しやすくなります。

ショルダーストラップは、移動（短距離）の際に本製品を運ぶのに便利です。

Watch the instruction video online:
www.orukayak.com/assembly-guide-2014

11 折りたたんだカヌー本体の上に写真のように乗り、圧縮しながら両端2カ所のデッキバックルをきつく締めます。



12 取り付けたパーツやその他アクセサリーを本体に入れ、蓋をするようにフロアボードを被せます。

13 写真のようにショルダーストラップを箱型になった本体に巻きつけて、しっかり締めてください。

14 完成。